シグナルマークについて

シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で必ず記載の注意事項を守ってください。

△警告 - 取扱いを誤った場合に、死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。

△注意 一 取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。

積載物と積載物の制限について

△注意 最大積載重量は60kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。

使用状況によっては60kg未満でも屋根の変形及び、キャリアが破損する場合があります。

また過酷な使用、制限を超える積載を行うことにより60kg未満でも積載能力は変化し低下いたします。

△注意 下記の物は積載しないでください。

スキー板・ストック・スノーボード・サーフボード・自転車・コンテナ・ウィンドサーフィン・ポール・ブーム・ボート・カヌー・カヤック等の風抵抗の大きいもの

▲注意 下記の大きさを超える荷物は積載しないでください。

又積載物がキャリアからはみ出す場合ははみ出し量は前後均等にはみ出すようにしてください。

旦来	積載物の制限(単位=mm)				
品 番 	長さ	幅	高さ		
ZM-333AD	2550	990	600		

取扱い上の注意

☆警告 走行前には必ず、各締付け部にユルミが無いかを点検してください。

→締付け部にユルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。

△ 警告 初期ユルミが発生しますので、初回30キロ走行後には必ず各締付け部を増締めしてください。

△ 警告 キャリアの装着時は特に法定速度を守り、急発進・急ブレーキ・急ハンドル等の過酷な避け、悪路では徐行してください。

△警告 走行中にキャリアからガタツキ音等の異常音が聞こえた場合は速やかに停車しキャリアの状態を確認してください。

△注意 積載物をキャリアに固定する際は "脚部 "を利用してロープ等で固定しないでください。

→脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し破損及び脱落の原因になります。

△注意 積載物の重量の配分はどちらか(左右)に片寄らないようにしてできるだけ均等に平坦に積載してください。

→積載物が片寄ってしまうと運転に支障が生じたり、キャリアにも変則的な力がかかり破損や脱落事故の原因になります。

△注意 積載物をキャリアから載せたり、降ろしたりする際はキャリアに衝撃がかからないようにゆっくりと行ってください。

→強い衝撃[集中的荷重]がかかることによりキャリアの破損及び脱落の原因になります。

△ 注意 キャリアからはみ出す長尺物を積載した状態でバックドアを開けないでください

→バックドアのガラス面が当たり破損の原因になります。

☆ 注意 キャリアの装着時及び荷物を積載している時は車両の地上高が高くなる為、駐車場・高架等の高さ制限のある場所を通過する場合には十分ご注意ください。

保守・保管方法について

△注意 本体・ネジ類の防錆処理を市販の防錆剤等にて、組立て時及び1ヵ月に一度は行ってください。

☆注意 キャリアの表面にキズ等が付きましたら、その部分からサビが発生しますのでタッチペン等で補修してください。

△注意 キャリアを保管する場合はきれいに清掃し防錆処理を行った上で湿気のない場所で保管してください。

海外使用について

本製品は、日本国内使用専用となります。海外(他国)使用により発生した際の品質保証は一切お受けいたしておりませんのでご注意してください。(対外規格は取得しておりません。)また万一の事故、損害等のあらゆる責務に対しても、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承願います。

事故が起きたときは

製品の欠陥などにより万一事故が発生した時は速やかに販売店又は弊社までご連絡ください。

事故対応をスムーズに行うためにお客様には以下の事をお願いします。

(1)事故製品の確保・・・事故発生時のままの状態のもの(製品をバラしたりしない)

(2)損害の内容・・・損害を受けた現物、また損害を証明できるもの

(3)事故発生状況・・・日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出(事故届、紛失届) (いつ・どこで・何が・どのように)

お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

Rocky+ ロッキープラス株式会社

名古屋市守山区元郷2-107 TEL 052-778-7876 FAX 052-778-7718 http://www.rocky.ne.jp rocky@rocky.ne.jp

ROCKY ROOF CARRIER

ΖΜシリーズ 取扱い説明書

品番 / ZM-333AD

この度はロッキールーフキャリア「**ZMシリーズ/高耐食溶融めっき製」**をお買い上げいただきありがとうございます。 常に安全な状態で、ご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上ご使用ください。

尚、販売店にて本製品を取付けられましたら、本書を必ずお客様にお渡しください。

製品(組立て、取付け等)についてご不明な点は、お買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。

ご使用前に

☆ 警告 本製品は、ニッサン・旧ADバン/マツダ・旧ファミリア/スバル・旧レオーネバン (Y11系)専用キャリアになります。 他の車両には取付けないでください。

↑ 警告 本製品の改造は絶対に行わないでください。

本製品の改造による事故責任は一切負いかねます。

「例」 ・部品類の穴あけ加工、溶接 ・看板の取付け

- ・市販品のアタッチメントを使用して荷物(スキー・自転車)等の積載
- ・本製品以外の部品による組立て及び、部品交換
- ・荷受け部全面に板を敷く

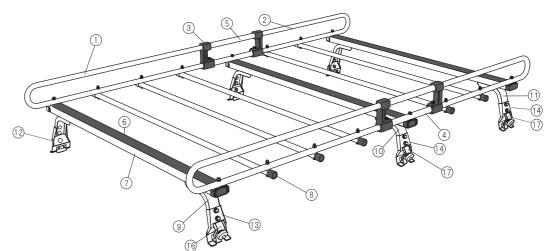
↑ 警告 部品不足での使用は絶対に行わないでください。

▲ 注意 キャリアを取付けた状態で洗車機にかけないでください。

キャリアに無理な力がかかり、ルーフの変形等の損傷を車に与えます。

構成パーツ

● 構成パーツは検査済みですが、組立てを行う前に必ず数量の確認を行ってください。



No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量
1	U型サイドフレーム(前/長)	2	14)	インナークランプ	4	27)	平座金M6	12
2	U型サイドフレーム(後/短)	2	15	アウタークランプ(前・右)	1	28	バネ座金M8	6
3	コネクター	4	16	アウタークランプ(前・左)	1	29	バネ座金M6	12
4	パイプ(穴・有)	2	17)	アウタークランプ	4	30	ナイロンナットM6	10
(5)	パイプ(穴・無)	2	18	ナットプレート	6	31)	袋ナットM6	12
6	ラバー	3	19	ゴムシート	12	32	締付ノブ	6
7	フレームチャンネル	3	20	フレームチャンネル金具	6	33	キャップボルトセットM6	12
8	キャップ付パイプ	5	21)	フレームキャップ	6	34)	塩ビテープ	6
9	脚ステー(前)	2	22	角根ボルトM8	6	35	保護シート(小)	6
10	脚ステー(中間)	2	23	角根ボルトM6	12	36	保護シート(大)	6
11)	脚ステー(後)	2	24)	六角ボルトセットM6	6	37)	ナイロンワッシャー	16
12	インナークランプ(前・右)	1	25	丸ネジM6	10	38	ゴムパッキン	10
13	インナークランプ(前・左)	1	26	平座金M8	12	39	L型レンチ	1

組立て方法①

△注意 *キャリアの組立て時はケガ防止のため、滑り止め付軍手を使用してください。

*キャリアの組立て時にラチェットレンチを使用の場合は締め過ぎによりボルトやナットの破損の恐れがある為、締め過ぎには 十分に注意して締付けてください。指示のない締付けの目安はバネ座金の口が閉じてから90度程度回るぐらいです。

1. ②③4/インナークランプに組付けてある「ストッパー」に③保護シート(小)を貼ります。〔図-1〕

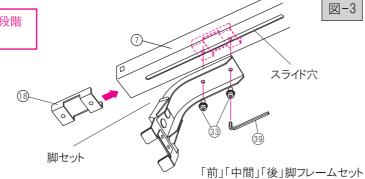
(保護シート(小)ルーフにキズが付く恐れがあるので必ず貼ってください。)

2. 「前」「中間」「後」用の脚セットを組立てます。 ⑨⑩⑪脚ステーと⑫⑬⑭インナークランプを 下記表を参照に仮組付けします。組付けする際は⑨⑩⑪脚ステーの裏の口穴から ② 角根ボルトM6を通し、② 平座金M6、② バネ座金M6、③ 袋ナットM6にて 組付けを行ってください。その後⑩⑬⑭インナークランプの下に⑲ゴムシートを貼ってください。〔図-2〕 (車両に取付ける際に角度調整を行いますので必ず仮組付けしてください。)

	前		——————————————————————————————————————	後	
	(左)	十(右) 中間			
脚ステー	9	9	10	11)	
インナークランプ	13	12	(14)	(14)	

3. 「前」「中間」「後」の脚フレームセット」を各1セット組立てます。 ⑦フレームチャンネルの中に (®ナットプレートの天地の向きに注意して入れ「脚セット」を⑦フレームチャンネル下のスライド穴 にあてがい、33キャップボルトM6にて仮締めします。 [図-3]

車両に取付ける際にキャリア幅の調整を行うため、必ずこの段階 ではスライドする程度の仮締め状態にしてください。



9(10(11)

1000

図-1

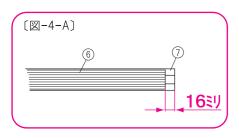
12(13(14)

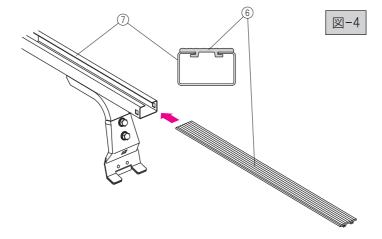
図-2

ストッパー

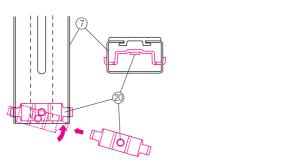
〔脚セット〕

4. ⑦フレームチャンネルに⑥ラバーを通します。〔図-4〕 ⑥ラバーを通す際は⑦フレームチャンネルの端から「16ミリ」空けた 状態にしておいてください。〔図-4-A〕





5. 「脚フレームセット」の⑦フレームチャンネルの両端に⑳フレームチャネル金具を入れておきます。 入れる際は⑦フレームチャンネルの角穴の内側から⑩フレームチャンネル金具を斜めに入れ反対側の角穴に引っ掛けます〔図-5〕

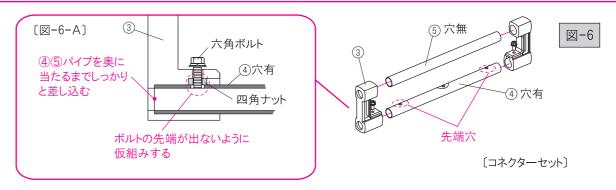




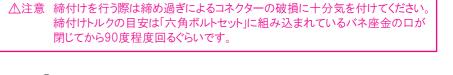
組立て方法②

6. 「コネクターセット」を組立てます。 ③コネクターに組付けてある六角ボルトを一度ゆるめます。 ③コネクターの上の差込口に⑤パイプ(穴無)を 差込み、下の差込口には④パイプ(穴有)のパイプの先端穴が上になるように差込み、手で軽く六角ボルトで仮止めします。

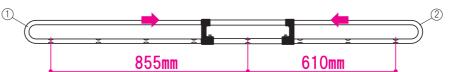
△ 注意 この時、④⑤パイプは③コネクターの奥に当たるまでしっかりと差込みます。 そして六角ボルトの先端が④パイプ(穴有) の先端穴から絶対に出ないようにしてください。〔図-6-A〕 ボルトの先端が飛び出た状態で仮止めすると次の工程「7」で①②U型サイドフレームの先端が六角ボルトに当たり 奥まで入らないので先端を飛び出さないでください。



7. 「Uサイドフレームセット」を組立てます。 ①②U型サイドフレームを「6」で組立てたコネクターの外側から下記の寸法(穴から穴)になるように 差込み、仮組みしている「六角ボルトセット」をしっかりと締付けます。〔図-7〕



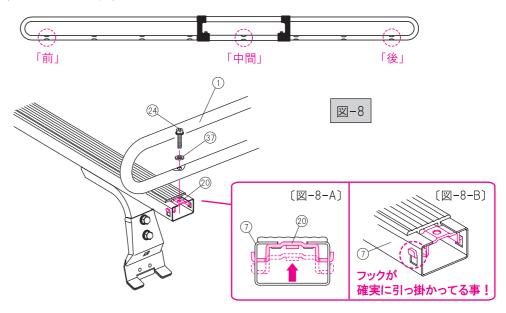




[Uサイドフレームセット]

8. 「3」で組立てた脚フレームセット「前」・「中間」・「後」に「7」で組立てたUサイドフレームセットを組付けます。〔図-8〕 ⑦フレームチャンネル両端上面の16ミリ空いている所に①②U型サイドフレームと④パイプ(穴有)載せ、③ナイロンワッシャー、 ②介角ボルトセットM6にてしっかりと締付けます。締付けの際は②フレームチャンネル金具を指で上に上げた状態で締付けを 行ってください。〔図-8-A〕 この時、⑳フレームチャンネル金具の両端のL型フックが⑦フレームチャンネルの角穴に確実に 引っ掛かった状態である事を確認してください。〔図-8-B〕

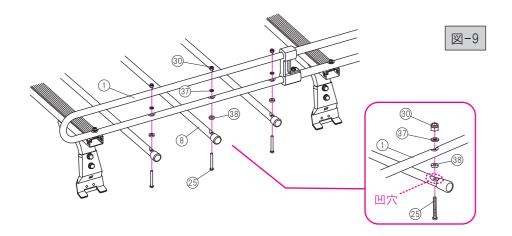
[Uサイドフレームセット]



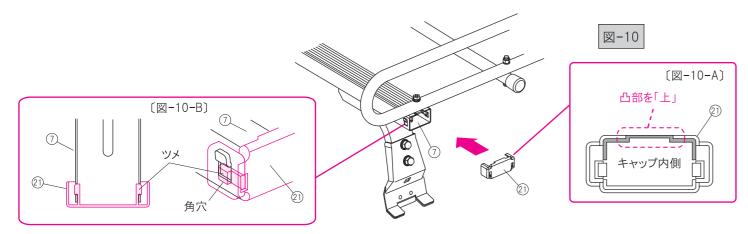
組立て方法③

9. ⑧キャップ付パイプの凹穴が上になるよう向きに注意して下から⑤丸ネジM6を通し、⑧ゴムパッキンをはめ①②U型サイドフレームをまたいで③フナイロンワッシャー、⑩ナイロンナットM6にて①②U型サイドフレームにしっかりと取付けます。〔図-9〕

△注意 ⑧キャップ付パイプは必ず①②U型サイドフレームの「下」に取付けてください。「上」で固定されますとサビ発生の原因になります。

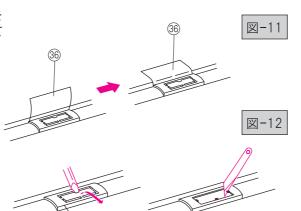


10. ⑦フレームチャンネルの先端に②フレームキャップを取付けます。〔図-10〕 この時、②フレームキャップの**凸部**を上にした状態で〔図-10-A〕 ①フレームチャンネル先端横の角穴に②フレームキャップのツメを引っ掛けます。〔図-10-B〕



取付け方法①

1. ルーフモール部にキャップが左右で6ヶ所ありますので、キャップ周辺を 清掃し、キャップとルーフの溝に③保護シート(大)を差込みながら貼って ください。〔図-11〕



キャップ

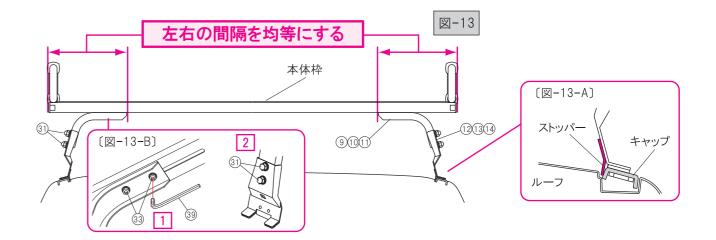
2. キャップの中央のくぼみにマイナスドライバーを差込み、キャップを 取除いてください。

残った突起(バリ)は、カッター等で取除き整えてください。〔図-12〕 * 突起(バリ)の作業はケガの無い様に十分に気をつけてください。

取付け方法②

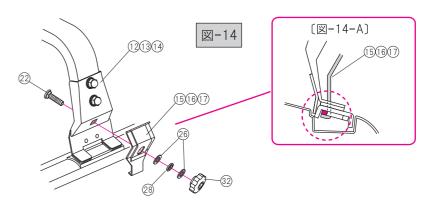
3. ルーフにキャリアをゆっくり載せ、⑫③⑭インナークランプに組付けてあるストッパーがキャップとルーフの溝に入るようにキャリアの幅の調整を行います。〔図-13-A〕この時、本体枠と⑨⑪⑪脚ステーの左右の間隔が均等になるように調整を行ってください。〔図-13〕調整後、初めに「組立て方法①-3」で仮締め状態の③キャップボルトセットM6をしっかりと締付け、次に「組立て方法①-2」で仮締め状態の③ 袋ナットM6をしっかりと締付けます。〔図-13-B〕

△注意 キャリアを車両に取付けの際は必ず2人以上で安全な場所で行ってください。屋根の傷や凹み、キャリアの破損防止になります。



4. ②③④インナークランプの裏から②角根ボルトM8を通し⑤⑥①アウタークランプのツメをキャップの中の金具に引っ掛け、〔図-14-A〕 ②平座金M8、② バネ座金M8、② 平座金M8、② 締付ノブでしっかりと締付けてください。 〔図-14〕

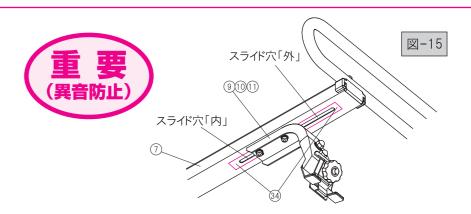
△注意 ⑮⑯アウタークランプは「右前」・「前左」でツメの角度が異なります。間違いのないよう取付時はラベルの確認を行ってください。



5. キャリア取付け後、⑦フレームチャンネル下のスライド穴を③塩ビテープで塞ぎます。〔図-15〕 スライド穴は⑨⑩⑪脚ステーをまたいで「内」と「外」に2分割されますので、③塩ビテープをカットして「内」と「外」全てのスライド穴を確実に塞いでください。

▲注意 必ずスライド穴を塞いでください。

この作業を怠ると走行中に笛を吹いたような異音が発生し、また雨天や洗車時には水が侵入するためサビ発生の原因になります。



6. 最後に全ての締付ボルトがしっかりと締付られているか確認してください。 その後、キャリアを前後左右に揺すりガタツキが無いことを確認し、ガタツキがある場合は再度取付けをやり直してください。